

ホクレン営農支援情報

(2021年1月号)

●RTK・GNSS 基地局設置に伴う説明会で講演《留萌支所 営農支援室》

JA 南るもい管内に RTK・GNSS 基地局が設置されることに伴う、生産者向け説明会が昨年 11 月 25 日（水）留萌市内で開催されました。同 JA では、6 月 17 日に同市内で開催したホクレン RTK システムによる自動操舵の実証会で、その有用性が確認されたことから今年度内での基地局設置が決まった経過にあります。

説明会では、ホクレンから当技術の仕組みやホクレンで行った環境別の RTK 測位精度の実証結果、ホクレン RTK システムを活用するための手続きなどを紹介しました。参加者からは今後の発展性などについて質問が出るなど、基地局設置に対する期待が大きいことが感じられるものとなりました。



●JA きょうわ管内で RTK の精度を確認《倶知安支所 営農支援室》

倶知安支所営農支援室では、昨年 12 月 3 日に JA きょうわ管内の 7 カ所で、概ね 20km の範囲となる JA ようてい倶知安基地局からの RTK の測位精度確認を実施しました。その結果、いずれの地点においても安定した測位精度となることを確認できました。

また、セカンド基地局として補完的な位置づけとなる留寿都基地局（距離約 40km）や、

障害物横の条件下においての調査も行いました。ややばらつきはあったものの測位精度としては問題ないことを確認することができました。こうしたデータは、今後の管内への普及に向けた基礎資料としても活用していく予定です。



RTK 精度確認用のアンテナを車両の天井に設置

●JGAP 指導員フォローアップ研修会を開催《訓子府実証農場 農産技術課》

振興局や普及センター、オホーツク農協連、ホクレンなどで組織される、オホーツク地域 GAP 導入推進会議では、JGAP 認証取得を目指す管内の農場や団体への支援を予定している JA 職員や普及指導員などを対象に「JGAP 指導員フォローアップ研修会」を、昨年 11 月 25 日（水）に開催しました。

当日は、GAP をめぐる情勢や JGAP 指導員の役割、JGAP 個別認証や団体認証取得への支援手法などについて、網走農業改良普及センターや JA きたみらい、ホクレン訓子府実証農場から説明しました。また、訓子府実証農場の施設を活用し「施設点検のポイント」についての現地研修も実施し、JGAP 認証取得に向けた支援の仕方を学ぶ良い機会となりました。



● 今年の経営を考える時のツール 《営農支援推進課》

春から本格的な農作業が始まる前に、昨年を振り返りながら今年の経営についてじっくり考えるのはいかがでしょうか。2018年12月に発行したアグリレポート16号特集では「農業経営の基礎講座」として、もうかる農業に向けた営農計画の活用方法について紹介しています。参考にしてみてください。

バックナンバー アグリレポート16号

特集「農業経営の基礎講座」

- 営農計画を立てる前の比較・検証が重要！
- 営農計画を生かすために伝えたい10のこと
- 計画を立てるためにまず記録する
- 経営のクセに気付くことが大切



https://www.hokuren.or.jp/ko_uho/ap/backnumber/16.pdf#page=4



内容についてのお問い合わせは **ホクレン岩見沢支所営農支援室** まで

Tel. 0126-35-1302 E-mail. 06einousien@hokuren.jp

発行： **ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課**

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp